

書くこと③

第3学年

自分の考えが明確になるように、考えと理由を整理して書くこと

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

自分の考えたこととその理由を整理し、順序立てて書くことができない。

なぜそう考えたのか、自分の考えの理由が明確でない。

似たような内容が並列して述べられている。

しよう。
 みまでそうじをしま
 みなさん、すみず
 もいります。
 も使います。ぞうき
 を使います。ちりとり
 そうです。ちりとり
 ました。
 字を考え
 表す絵文
 そうじを
 わたしは

「まず」や「次に」などの順序を表す言葉が使えていない。

「～から」「～ので」などの、理由を表す語句が使えていない。

実践の概要

単元名

理由がわかるように書こう

『理由がわかるように書こう』東京書籍

目標 自分で絵文字を考え、その考えと理由を整理して順序立てて説明する文章を書く。

内容 ・自分で絵文字を考えて、それを説明する文章を書くという単元のめあてをもつ。

- ・自分の考えを理由付けて順序立てて説明する書き方について学習する。
- ・絵文字を考え、説明する文章を書く。
- ・文章を交流し、単元を振り返る。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第6学年	自分の投書を新聞に投稿しよう	自分の主張に沿った理由とその理由につながる根拠が書けない。
第5学年	「和の魅力リーフレット」を作ろう	目的に応じた小見出しを作り、その内容を説明する文章を自分の考えと区別して適切な資料を入れながら書けない。
第4学年	広告大賞を目指して、夢の〇〇商品の広告を作ろう	2つの文章を読み取り、それぞれの意図や目的による違いが挙げられない。
第3学年	理由がわかるように書こう	自分の考えたこととその理由を整理し、順序立てて書くことができない。
第2学年	絵を見てお話を作ろう	場面がつながるように、伝えたい事柄を決められない。
第1学年	のりものかるたをつくろう	調べたことから、学習のめあて(役目・つくり・できることを意識して書く)に則した伝えたい内容が決められない。

単元末の目指す姿

- ・多様な視点で考え、その理由を整理して書きまとめることができるようになる。
- ・自分の考えとその理由を、順序を表す接続詞や理由を表す言葉を使って、順序立てて説明する文章が書けるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

多様な視点で理由が書けるよう、絵文字をパーツに分けて、意味付けを考えさせる。

活動のねらい ▶ 1つの絵文字に対して、多様な視点で考え、その理由を整理して書くことができる。

ここが
ポイント

絵文字の一つ一つのパーツについて気付いたことから、何を表す絵文字か、その理由につながることを整理して書きまとめるようにする。

ワークシート



理由③



理由②



理由①

絵文字の意味考えよう(理由を3つあげて、そう考えた理由を書く)

(期待される児童の姿)

絵文字をパーツに分けることで、多様な視点で考え、考えた理由を整理して書くことができるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

「はじめ、中、終わり」のまとめり、理由や順序を表す接続詞、考えと理由を書くときの文末表現など、表現の工夫を話し合ってみつけ出させる。

活動のねらい ▶ 自分の考えを理由付けて順序立てて説明する書き方がわかる。

ここが
ポイント

教科書の文章から理由を表すときに使う言葉や順序立てて説明するときに使う言葉、文章構成などを見つけるようにする。ペアで話し合わせた後、全体で出し合い、出てきた表現の工夫を一覧表にまとめることで、順序を意識しながら自分の文章に活用できるようにする。

授業の様子

説明するときには、「はじめ、中、終わり」のまとめりを考えるのも大切だったね。

自分の考えを書くときは「～と思います。」や「～考えました。」という言葉を使うといいね。

「一つ目は」「二つ目は」という言葉を使うと、理由を整理して書きやすいな。

考えた理由を書くときに「～から」や「～ので」という言葉を使うといいね。

(期待される児童の姿)

理由付けて順序立てて説明する書き方がわかり、自分の文章にいかすことができるようになる。